



LS研会員各位

FUJITSU ファミリー会 LS研究委員会  
幹事長 占部 真純

## LS研 2019年度 第1回 マネジメントフォーラムのご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素よりLS研活動にご参加賜り誠にありがとうございます。

LS研会員の皆様におかれましては、企業内におけるICT部門への期待が高まる中、現状とのギャップから日々多くの課題を抱えておられることと思います。

そこで、LS研会員のリーダー層、マネージャー層の方々を対象とした2019年度 第1回マネジメントフォーラムを以下の要領で開催いたします。

本フォーラムでは、LS研幹事にアドバイザーとしてご参加いただき、グループ討議で参加者同士忌憚のない意見交換を行っていただきます。

つきましては、是非とも本フォーラムへのご参加を賜りたくご案内申し上げます。

敬具

### 記

- 開催日程 : 2019年8月1日(木)～2日(金)
- 開催場所 : ふじのくに千本松フォーラム プラザ ヴェルデ  
〒410-0801 静岡県沼津市大手町1丁目1番4号  
<https://www.plazaverde.jp/access.html>  
※JR沼津駅北口より徒歩3分
- テーマ : 「ビジネスに貢献するICT部門を目指して」  
～最前線のリーダーが、今、何に取り組むべきか～  
企業のICT部門は、ICTの企画・構築・維持運用を担うと同時に、企業経営を支える部門としての重要な役割が期待されています。しかしながら、経営陣・ビジネス部門とICT部門との間に距離がある、日々の業務に追われ将来のビジネスに踏み込んだ提案ができない等、打開策に頭を抱えるリーダーが数多くいます。本フォーラムでは、リーダー同士が業種の枠を超えて課題を共有し合い、腹を割って議論することで、ビジョンや目指すべき方向を明らかにし、具体的な施策への落とし込みを目指します。他社・他業種との意見交換を踏まえ、自社の強み・弱みを再確認するとともに、これまでにない気づきや明日へのヒントを得られる場となるでしょう。
- アドバイザー : JFEシステムズ株式会社  
執行役員 製鉄所システムプロジェクト サブリーダー  
基盤開発部長 森 弘之 様  
東京海上日動システムズ株式会社  
常務取締役 ITサービス本部長 竹屋 嘉章 様
- 募集対象 : ICT企画部門/ICT部門の リーダー層、マネージャー層 16名
- 参加費用 : 20,000円/名 (消費税・食事・宿泊代を含む)
- 申込方法 : LS研Webサイトよりお申し込みください。  
<http://jp.fujitsu.com/family/lskan/activity/m-work-group/19/entry/01.html>
- 申込期限 : 2019年7月2日(火)

9. スケジュール（予定）：

<8月1日（木）> ※プログラム内容は一部変更する場合もございますのでご了承ください

時間	内容
10:50	プラサ ヴェルデ 3階 301 会議室 にお集まりください。
11:00	オリエンテーション（研修の狙い、進め方など）
11:40～12:30	情報提供： JFE システムズ株式会社 執行役員 製鉄所システムプロジェクト サブリーダー 基盤開発部長 森 弘之 様
12:30～13:30	昼食
13:30～18:30	<Step1> 自己紹介、現状認識の共有 <Step2> 現状確認と課題抽出、整理 <グループ討議、全体発表>

<8月2日（金）>

時間	内容
08:30～12:00	前日の振り返り <Step3> あるべき姿の検討、整理 <グループ討議>
12:00～13:00	昼食
13:00～17:00	<Step4> 解決策、実現手段の検討<グループ討議、全体発表、意見交換> 研修のまとめ <Step5> 各自の決意<実行プランの記入・発表>
17:00	プログラム終了 現地にて解散

10. ご集合：

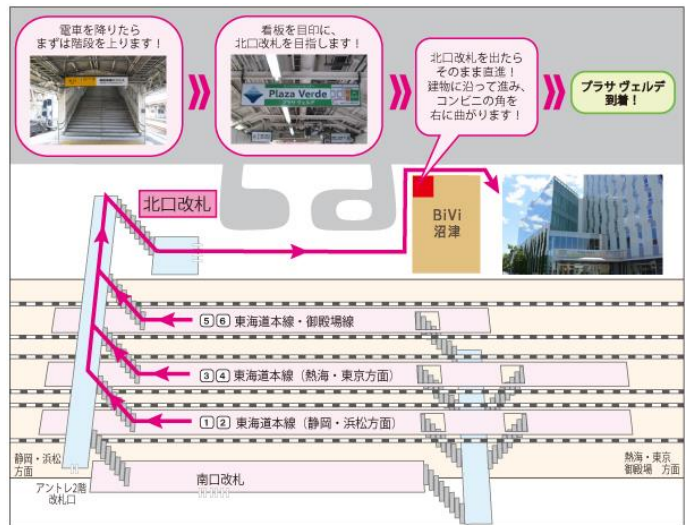
現地会議室（3階 301号室）に

**10時50分までにお集まりください。**

※右記は JR 沼津駅からのアクセス

**【ご注意ください】**

JR 沼津駅北口改札を必ずご利用ください。誤って南口改札を利用した場合、北口への移動には入場券が必要となりますので、お気を付けください。



11. お問い合わせ先：LS 研事務局 担当：鈴木、河口、夏川（富士通(株) LS 研推進部内）

Tel: 03-6424-6131 E-mail: contact-lsken@cs.jp.fujitsu.com

<ご参考>

※これまでの参加者のご意見・ご感想

- ・「異業種のIT部門の方と多くの課題を共有でき、有効だった。」
- ・「様々な業種/立場の方々と同じ目的で討議したので、いつもとは違う考え方が出来た。」
- ・「アドバイザーから経営視点や別の視点での情報をいただき、大変勉強になった。」
- ・「時間配分的にもあまり無理のないスケジュールとなっており、リラックスして臨めた。」
- ・「自社に帰り、業務に活かしたいヒントが得られた。」

以上